

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	家電量販店（店 長）	来客数の動き	・ 昨年11月末で競合店が1店閉鎖し、新規顧客が増加した。また歳末商戦・初売りもデジタル家電中心に大物商品が好調であった。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	・ 薄型液晶テレビ・DVDレコーダー・乾燥機能付き洗濯機・大型冷蔵庫などが良く売れ、平均単価が少し上がった。また来客数も少し増えた。
		その他専門店 【医薬品】（経 営者）	お客様の様子	・ 来客数の落ち込みはやや底をついたようで、ようやく売上も安定はしてきた。まとめ買いをする客も少し出てきた。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・ 陳列している商品に興味を示し尋ねたり、購入する客が以前より増えてきた。
		設計事務所（所 長）	競争相手の様子	・ 業界全体的に新規物件の動きが活発になり始めているような印象を受ける。
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・ 大手百貨店の閉店後、大型店の売上は前年比102～105%で推移しているが、路面店は何とか前年を上回っている状態が続いている。観光客への依存が高い飲食店は、航空機の減便で観光客が減少している上、ホテルでの食事が付いている格安パックの影響もあり、前年比90%前後で推移している。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・ 暖冬などの影響で冬物のバーゲンが早まり、シーズンを通しての単価が下がる傾向にある。12月下旬から1月下旬にかけて売上が少し下降気味になってきているような気がする。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・ 冬物セール時期であったが、昨年から引き続いて、単価の高い防寒物や重衣料の動きが悪い。単価の低い商品中心の売上になっているのでセールといってもそれほど盛り上がりはみられない。
		百貨店（売場主 任）	単価の動き	・ 1月はセール待ちの客が多いという流れもあり、必要以外の物を消費するという傾向はやはりなく、特に冬用のコートなど重衣料の売上が伸び悩んでいる。
		百貨店（販売促 進担当）	競争相手の様子	・ 初売りのブランドマークダウンのタイミングが、昨年は4日スタートがほとんどだったのが、今年はほとんどのブランドで2日から始まったため軒並み前年を上回ったが、前倒しの需要になっただけで、トータルすると前年より悪化している。また、大型低気圧の影響による大雪の影響には苦戦した。ただし、直近では春物に対する顧客の反応は早そうな手応えを感じる。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・ 若い2人組のサラリーマンがレジの前ですごい会話をしていた。一人が税込み150円のカップラーメンを買ったら、もう一人が「お前そんなぜいたくをして大丈夫なのか？」と言っていた。思い切って1回の食事にかかる費用はどれくらいが妥当かと聞いてみると、100円程度とのことであった。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・ 収入減少のためか、多少値引きを上乘せしても代替えが早まらず、なかなか決まらない。
		乗用車販売店 （役員）	お客様の様子	・ 様子見の客が多く、車両販売増が見込めない。また、車両整備での在庫も相変わらず減少している。
住関連専門店 （経営者）		来客数の動き	・ 今月はバーゲンを開催したが、商品を安くすると客は購入するようだ。ただし、バーゲン以外の日は依然として前年を下回って推移している。	
住関連専門店 （営業担当）		単価の動き	・ 依然として客単価が前年比98%前後で推移している。一人当たりの買上点数が前年比102%前後と増加しており、売上高の減少は収まってきているものの、3か月前と比べて良くなっているようには思われない。	
高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・ 月2度の利用を1度に行っているよう到来客数が低迷しているが、単価が上昇しているため売上は何とか保っている状況である。		
高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・ 1月中旬以降は、毎年苦戦する時期であるが、今年は特に観光客の入り込み数の減少していることから、売上は前年比で10%以上減少している。		

	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・前月に引き続き、1月の来客数も前年に比べて10%以上の減少となっている。2か月連続して大幅な減少である。
	スナック (経営者)	来客数の動き	・12月は忘年会などで忙しい月だったが、1月は新年会の予約も少なく、かなり売上也落ちそう。
	旅行代理店 (従業員)	来客数の動き	・来客数はほぼ昨年並みだが、海外旅行でわずかに復調の兆しがみえてきた。
	タクシー運転手	来客数の動き	・1月は新年会などでタクシーの利用が増えることを期待したが、昨年よりも人出が少なく、夜間の利用が減っている。また大雪により除雪が追いつかず、道路が大渋滞したことでタクシーの効率が極端に悪くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・特に夜間の客の動きが悪い。
	観光名所 (役員)	販売量の動き	・ロープウェイの輸送人員は、ほぼ前期並みで推移している。
	その他レジャー施設 (職員)	販売量の動き	・3か月前に比べるとイベント数は小規模ながらも増えているが、イベント以外の日の来客数が少なく、トータルの売上高は3か月前とあまり変わらない。
やや悪くなっている	一般小売店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・得意先の飲食店の売上が極めて悪い。BSEや鳥インフルエンザの影響があって、客の心理に飲食の控え感が出ている。
	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数・売上とも前年を下回り、厳しい状況である。食品部門も来客数は前年実績を確保したものの、売上は前年比を10%以上下回っている。特に生鮮食品の低迷が顕著である。またハレの日の食卓が変化してきているのか、例年だと年末に動向が顕著になる食品が、昨年末は低調に推移した一方で、今月初めは好調な売上となった。
	スーパー (店長)	単価の動き	・現在、客単価が前年比85%まで落ち込んでいる。
	スーパー (企画担当)	販売量の動き	・今冬の暖冬傾向と社会保険料の賞与引き落としに伴う所得の目減り感、あるいは年末年始の消費の分散化傾向の影響などで、足元の買上点数が減少してきている。
	コンビニ (エリア担当)	お客様の様子	・特売時の買い方が安い商品ばかりで、通常の値段の商品の動きが鈍くなっている。
	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・来客数の減少と同時に買上点数の減少が起きており、結果として売上の減少が続いている。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・例年よりやや暖かったことで衣料品などの売上が非常に悪い。また人出も悪かった。
	衣料品専門店 (店員)	来客数の動き	・今月上旬は冬のセール時期に当たり、その時の来客数はかなり多く見られたが、中旬以降の来客数はかなり減っている。季節も中途半端なため冬物が売れず、春物もまだ買い渋る状況である。
	家電量販店 (地区統括部長)	来客数の動き	・6月以降好調に推移していたが、前半の暖冬と中旬の大雪の影響で客足の動きが悪く、徐々に苦戦した。売上は薄型テレビ・DVDの好調に支えられ、かろうじて前年を上回った。
	住関連専門店 (従業員)	販売量の動き	・一人当たりの買上点数が減少しつつある。
	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・外食控えが続いており、レストランはランチ、ディナーとも来客数が落ち込み、前年より15%程ダウンしている。個室の売上は、企業の新年会が日中に開催されたこともあり、昼が前年の倍となったものの、夜が前年の半分強となり、結果として前年比75%程となった。一方、景気の良かった農業・漁業関係者の団体予約があり、多少売上に貢献してくれた。
	観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・総消費単価は微減で、ある程度底を打った感があるが、宿泊客数は1割近く落ち込んでいる。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・1月14日の大雪以来、客の動きが止まった。前年比では30%程度の減少で厳しい年度末になっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・各企業の新年会などは規模を縮小したり、一次会だけということもあって、週末でも深夜0時以降は閑散としている現状である。

	悪く なっている	スーパー（店 長）	競争相手の様子	・今まで、競合店のチラシは週に1～2回だったが、最近では週に3回もしくは4回入るようになり、価格の低下もどんどんエスカレートしている。また本当に必要な商品以外購入しない傾向がますます強くなっている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・毎年1月は努力をして客の導入をかけているが、昨年・一昨年以上に努力をしているにも関わらず来客数が落ち込んでいる。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・道外客、地元客ともに不調である。特に顕著なのが、団体旅行の少人数化である。観光バス1台につき、30～40名程度だったものが、25～35名程度に落ち込んでいる。業界では、個人客へのシフトが指摘されているが、個人客も動きが鈍い。景気とは無縁と思われるような、色々な風評が飛び交い、旅行気分を水を差している。
		住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・客の動きが非常に悪くなっている。単価が低くなっても状況は変わらず、販売量も減少している。
	企業 動向 関連	良く なっている	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・全国的な暖冬の影響で、昨年よりも荷動きがやや悪い状況が続いている。
		家具製造業（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・個人客の需要は上向きだが法人需要が低迷しており、トータルとしては横ばいである。
		輸送業（支店 長）	取引先の様子	・雑貨・小売を中心とした輸出は好調に推移しており、取引先の落ち込みはないが、輸入を中心とした企業は稼働が少なく、扱っている商品アイテムに関わらず低調に推移した。
		輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・年始も操業した工場が多かったものの、大雪や台風並みの低気圧の影響で輸送に混乱が生じ、結果的には期待外れとなった。
		通信業（営業担 当）	取引先の様子	・取引先の様子として、主にIT・通信関係の企業からは比較的業績好調との話を聞くが、まだ他の業種においては平行基調、もしくは引き続きデフレ状況であるとの話を聞く。景気の方向感が少しつかみにくいが、全体的には変わらないと感じる。
		通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量自体は増えているが、コスト削減につながるものが多く、純粋な意味での投資は少ないのが現状である。
		金融業（企画担 当）	それ以外	・設備資金の需要は弱い。建設業は公共投資の削減で厳しい。小売業も道外大手スーパーの進出による過当競争や販売価格の低下などで停滞している。
		司法書士	取引先の様子	・不動産取引・住宅の新築などが低迷している。
		その他サービ ス業〔建設機 械リース〕（支 店長）	競争相手の様子	・同業者の会合においても、商材不足で苦戦しているとの話が多い。
		その他非製造業 〔機械卸売〕 （従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・鉄骨加工業者は仕事が少なく、臨時休業日を取らざるを得なくなっており、稼働日が少なくなっている。このため副資材の出荷量は前年比で10%程減少した。ただし、鋼製橋梁加工は活況が続いており、3月までこの状況が続く見込みで、多少は食い込みをカバーしている。
		その他企業〔コ ンベンション担 当〕（従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・ディスカウント要望とクオリティ要望の二極化になっている。
	やや悪く なっている	食料品製造業 （団体役員）	受注量や販売量 の動き	・鶏卵の虚偽表示や、BSE・鳥インフルエンザなど食品原材料に対する消費者の不信や不安感の増長により、食料品の受注に影響を受けており、前年比で大きく受注が減少している。また、地場流通企業が大手企業の傘下に入るなど、流通業界の構造に変化が起こり、激変模様となっている。
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注の減少傾向は相変わらず続いている。

		その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)	取引先の様子	・中小零細にはかなりギリギリで経営を行っている企業が多く、取引先の焦げ付きなどに対応する余力が少なくなってきた。
	悪くなっている	司法書士	受注量や販売量の動き	・土地や建物の取引が少なく感じられる。
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人は請負業や食料品製造業・サービス業で増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求職者数は前月に比べ増加しているが、求人数は変わらない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	それ以外	・求人広告の約7割が飲食・サービス業に占められ、業種・職種に偏りがみられる。求職者の希望職種と企業の求める能力の間でミスマッチが顕著になっている。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・昨年との比較では飲食やファッションなどの求人が大きく落ち込んでいるが、これは昨年の札幌駅前の大型複合商業施設の求人の分がマイナスしているためである。また、他の業種に関しても大きな状況はそれほど変わっていない。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・建設業の大型倒産が1件発生しており、まだ2～3件の倒産予備軍があるとうわさされている。全般的に動きが鈍い。
		職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者の数にあまり変動がみられない。また12月の求人倍率も0.39倍と非常に悪い。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・有効求人倍率は0.41倍で前年と同率となった。新規求人は前年に比べて5%程増加しているものの、新規求人の30%はパート求人である。
	やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・業種により景況に波があったが、このところは波が少なくなり全体的に求人広告数が減少してきている。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数に占めるパートの割合は減少したが、前月に比べて求人数が約2,000件減少している。
	悪くなっている			